

西のついでに  
白鳥の歌



13  
2378  
29



速 2378 296

天保丁酉孟春發市

上の巻

柳亭種彦添削

白木屋阿駒清書冊子

全四冊

瓢亭種繁作  
歌川貞秀画

馬喰町二丁目

永壽堂梓



一

永壽堂

朝日の種を賤く向く候あり後あり門人おがら瓢亭ハ  
語路のたごひせりふの附く手とらひて異あり故まを  
校合せり一今年のどうのすまを中ら此稿奉と操へ  
我作ふりお酒とるわ一後やうえそれよりかへれば作者乃  
意ありさかひもまらんさそはさじの報向といふ渦川のまらさたる  
林風ののちれ方先又いさ葉の替り物所見おのちが、めいふいさう  
いぬ其種の所精合ありさうられど却と師匠の手次按じも  
はるぬづり一記事のあきむあづればまづらるんを懐めとむら  
この字のあつ自序のあま下の巻の合じのうらうらさびて我まを  
天保 丙申秋添削 柳名海の  
丁酉春發行 柳亭種彦記





松福子 一町於 女房 在兵衛

三郎



白木屋 庄兵衛 阿駒

白木屋の 手代





御茶道具新物類  
 由  
 二  
 御茶道具新物類  
 由  
 二  
 御茶道具新物類  
 由  
 二



御茶道具新物類  
 由  
 二  
 御茶道具新物類  
 由  
 二  
 御茶道具新物類  
 由  
 二



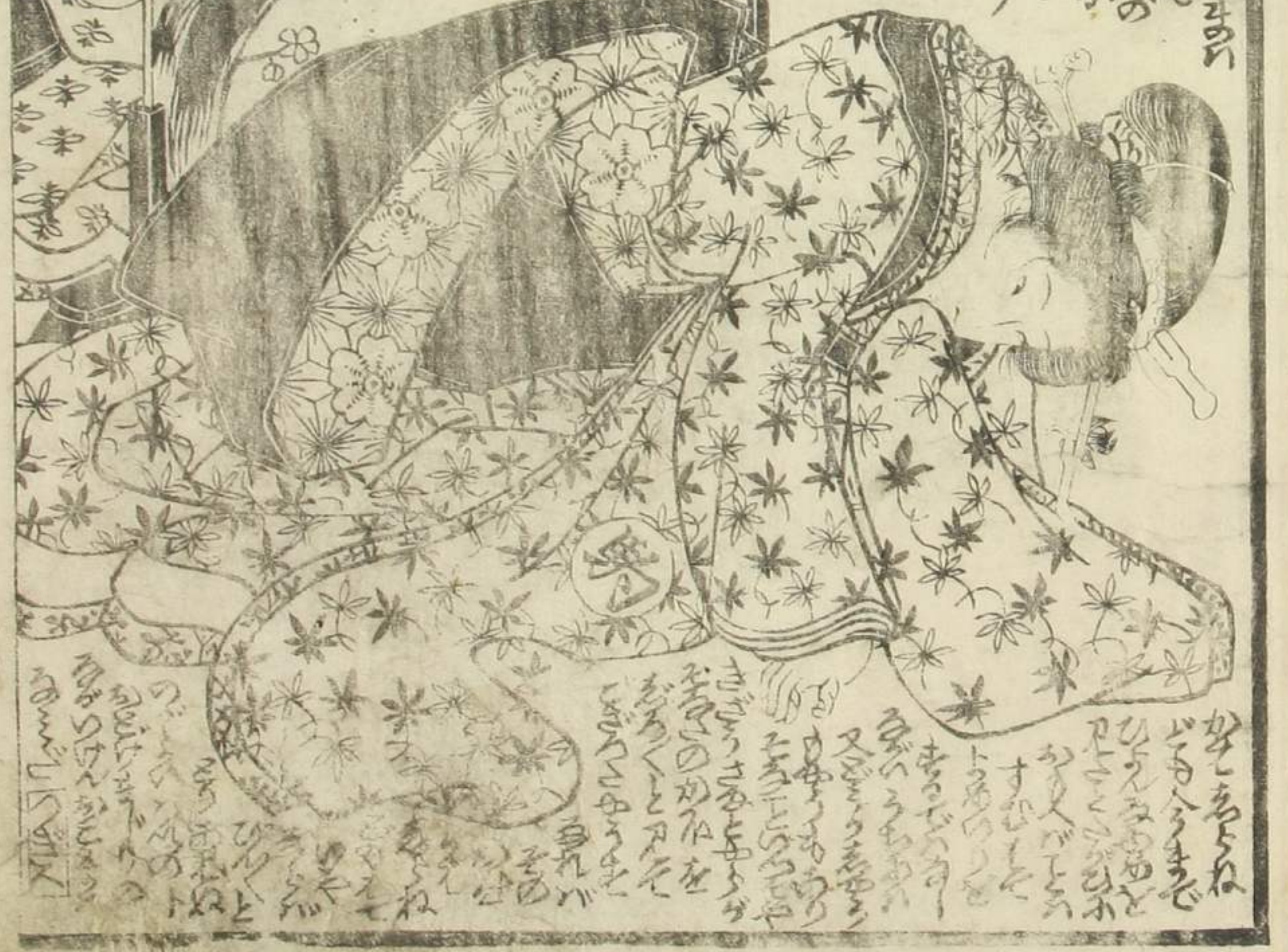
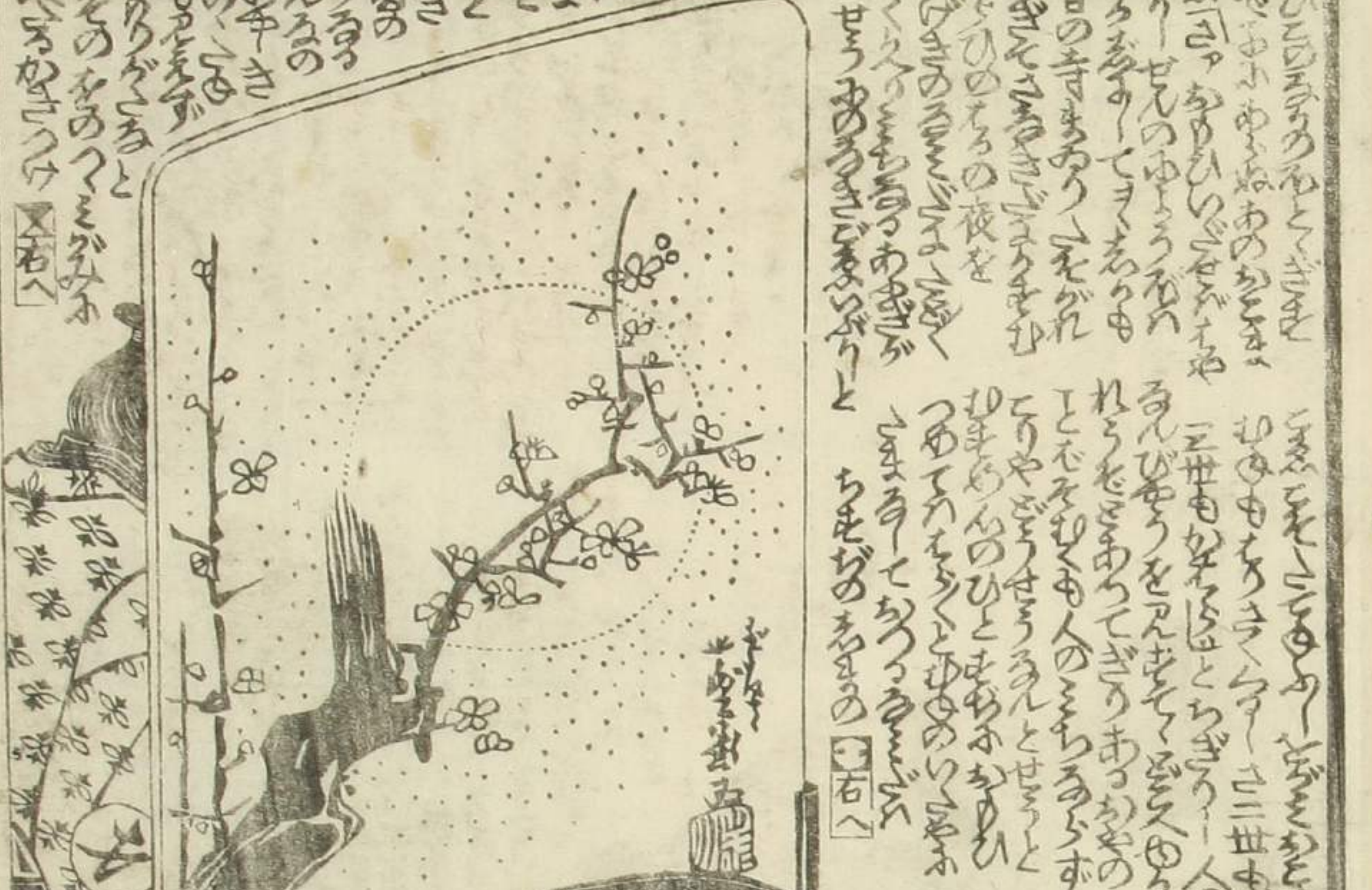


Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a record, located at the top of the page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the page, possibly describing the illustration or providing a signature.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the page.



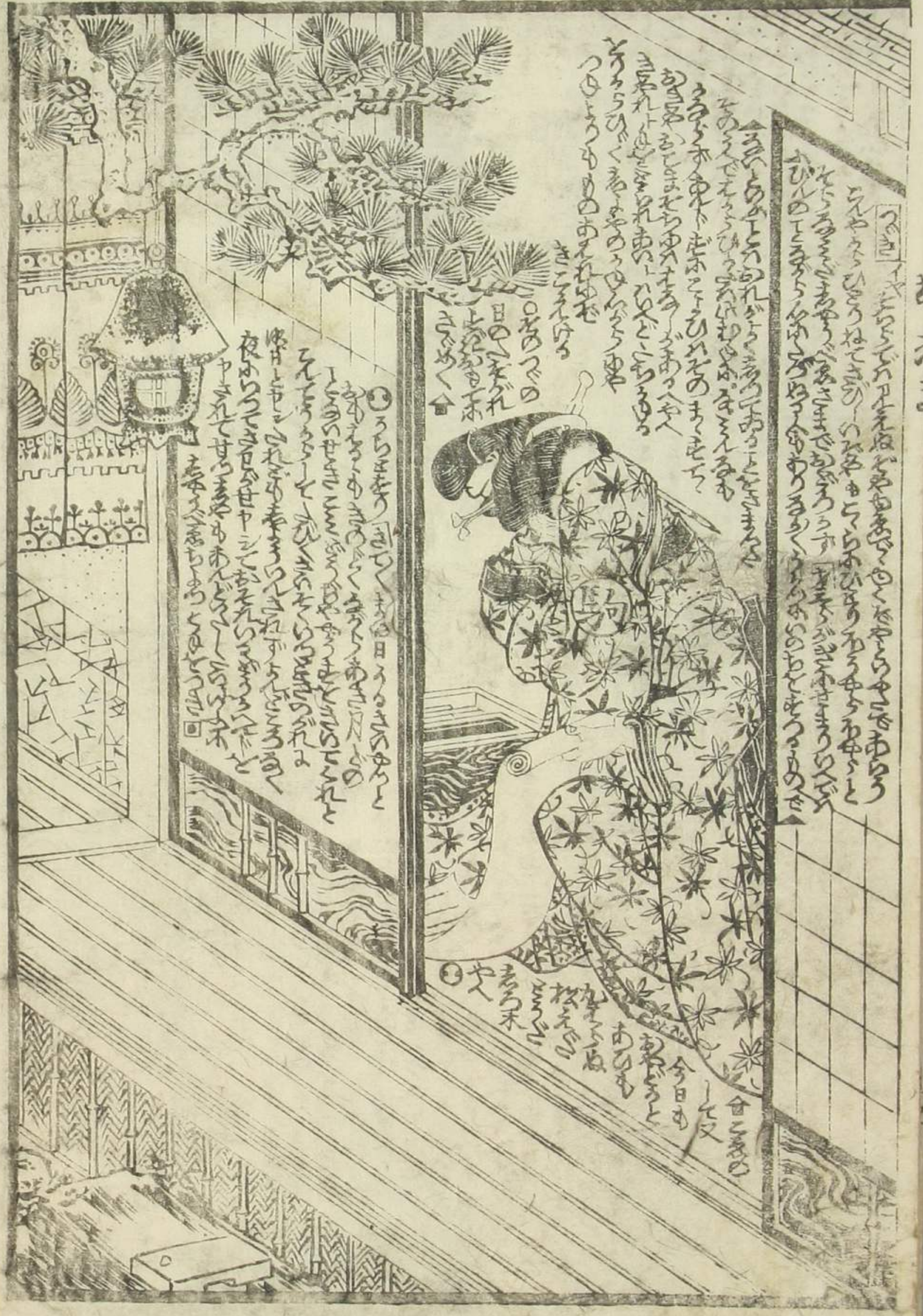
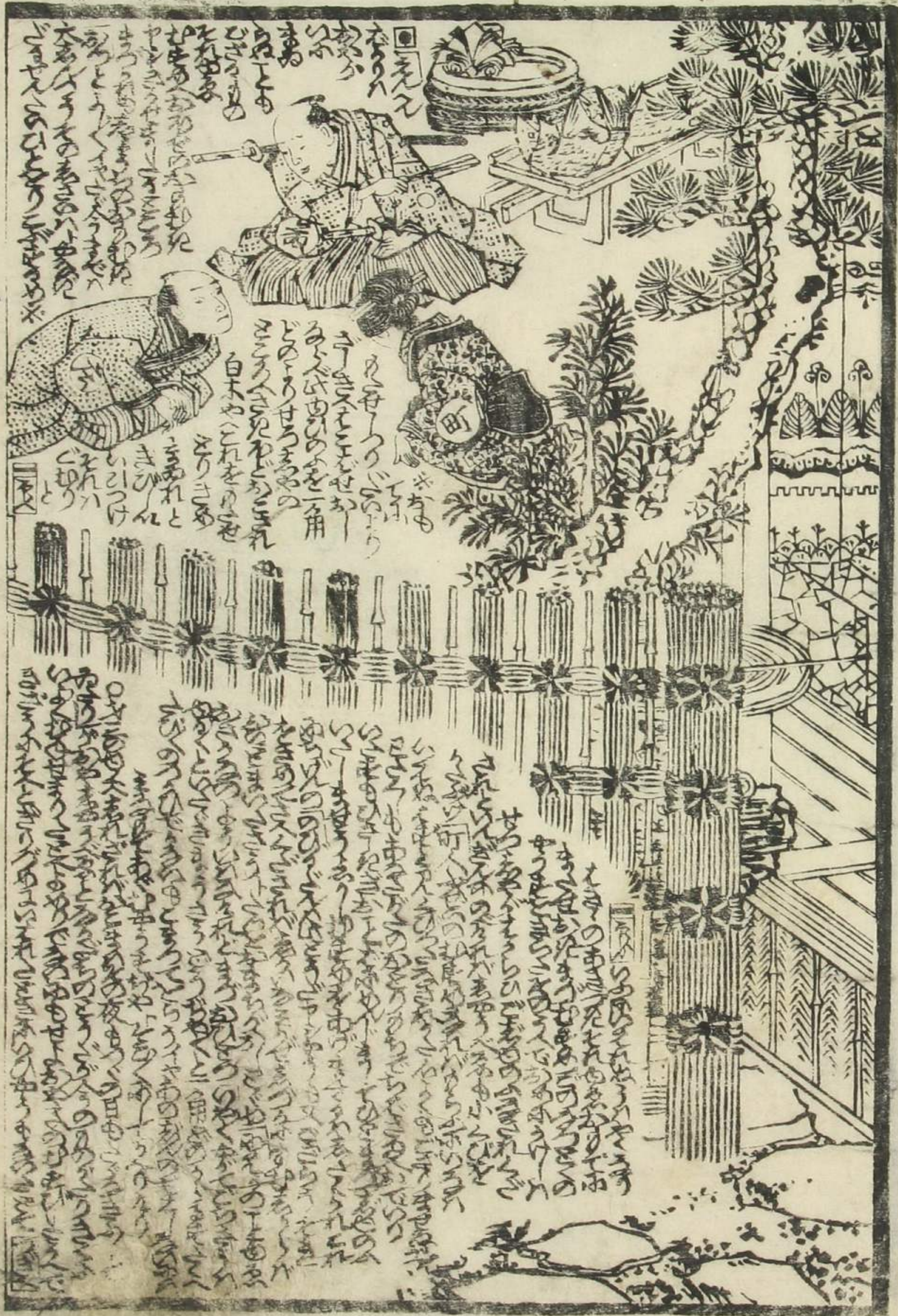


Handwritten text in Japanese and English, likely a letter or a collection of notes, located at the top of the page.



Handwritten text in Japanese and English, likely a letter or a collection of notes, located at the top of the page.

Handwritten text in Japanese and English, likely a letter or a collection of notes, located at the bottom of the page.





種彦校 種彦作



貞秀画

天保八年丁酉春新彫

耶 耶 諸國物語 大和の巻 八冊 柳亭種彦作  
 右大和の巻前候先年如後候四冊並編 柳相摸の巻四冊新彫

店三絃 三上春馬 緒連彈 全六冊 五雲亭 貞秀画

種彦 白木屋於駒清書雙紙 全四冊 画工 右同

國字水滸傳 第十五編 四冊 笠亭仙果 譯

新孝行車 全八冊 故楚滿人 編著 柳亭種彦增補

正本製二編 再彫 八冊 歌川國貞画 柳亭種彦作

書物地本錦繪團扇地紙問屋 馬喰町 貳丁目角 永壽堂西村屋與八



志と程彦  
 奇子中  
 難子

下  
 高  
 力  
 走

本伏屋

訂永

貞歌  
 川  
 画

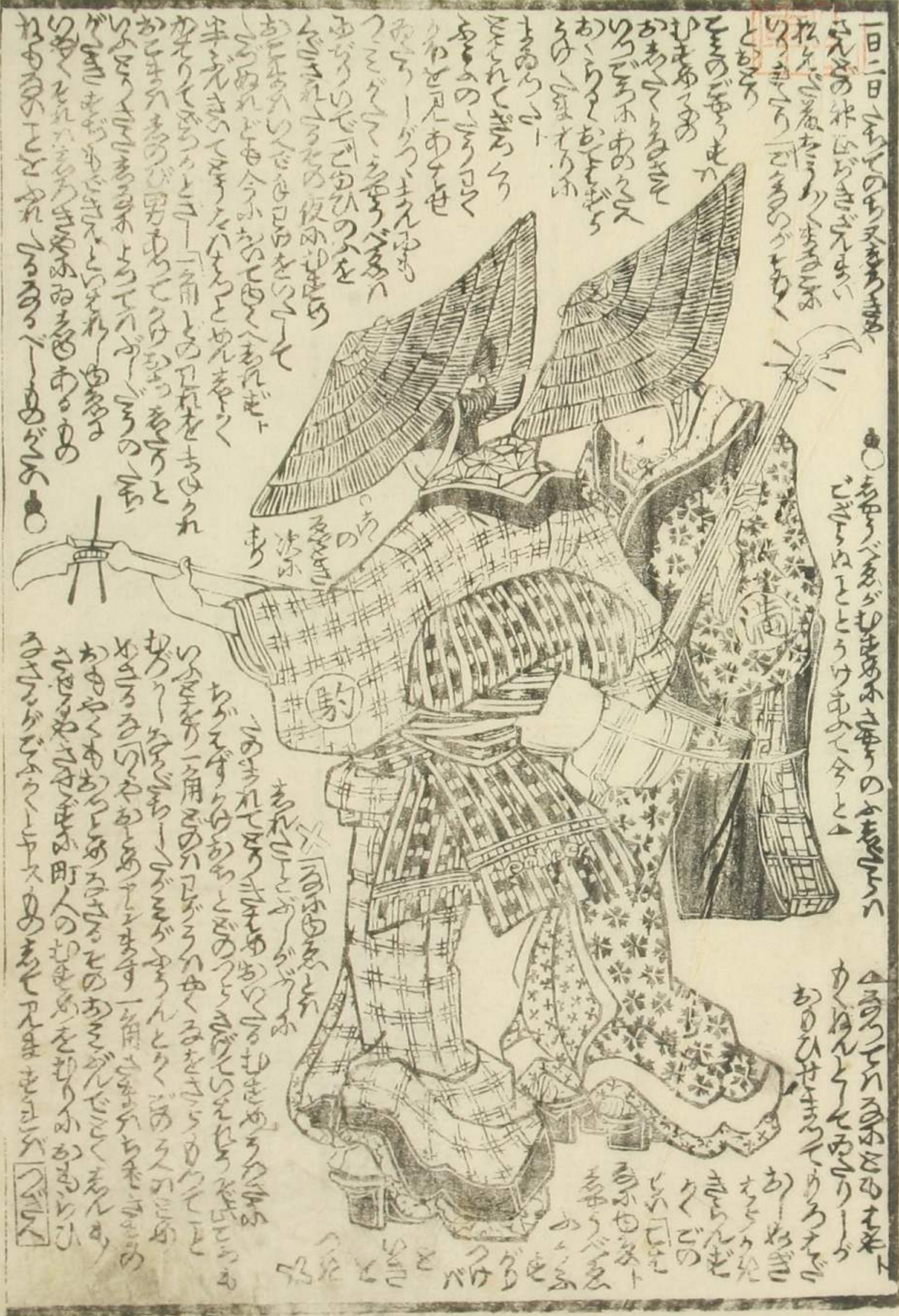
# 白木丸太のまな海書しり

## 下の巻

西むらや板

瓢亭の自序とありふととめんと既二序ふ  
 その事と記し一れど事と加ふふ随ひと  
 種繁の叙文とらふいぢい事多し一板ふ  
 遂に暗の文三のしりまをり病あり一と丈八が  
 実切腹一と金使るす執向とらふ盲人と  
 ち一丈八が父と書より一とりの影のこまを  
 おのき分派別あるれがきり

## 柳亭種彦記



一日二日...  
 瓢亭の自序とありふととめんと既二序ふ  
 その事と記し一れど事と加ふふ随ひと  
 種繁の叙文とらふいぢい事多し一板ふ  
 遂に暗の文三のしりまをり病あり一と丈八が  
 実切腹一と金使るす執向とらふ盲人と  
 ち一丈八が父と書より一とりの影のこまを  
 おのき分派別あるれがきり

〆用はまの おひをねがひまゝゝゝゝゝゝゝ  
 るこれ  
 〆用はまの おひをねがひまゝゝゝゝゝゝ  
 るこれ



〆用はまの おひをねがひまゝゝゝゝゝゝ  
 るこれ



〆用はまの おひをねがひまゝゝゝゝゝゝ  
 るこれ

〆用はまの おひをねがひまゝゝゝゝゝゝ  
 るこれ

〆用はまの おひをねがひまゝゝゝゝゝゝ  
 るこれ

〆用はまの おひをねがひまゝゝゝゝゝゝ  
 るこれ



〆用はまの おひをねがひまゝゝゝゝゝゝ  
 るこれ

〆用はまの おひをねがひまゝゝゝゝゝゝ  
 るこれ







角のふしよこ...  
 十のふしよこ...  
 角のふしよこ...  
 十のふしよこ...

角のふしよこ...  
 十のふしよこ...  
 角のふしよこ...  
 十のふしよこ...

角のふしよこ...  
 十のふしよこ...  
 角のふしよこ...  
 十のふしよこ...



甲のふしよこ...  
 乙のふしよこ...  
 甲のふしよこ...  
 乙のふしよこ...

甲のふしよこ...  
 乙のふしよこ...  
 甲のふしよこ...  
 乙のふしよこ...

甲のふしよこ...  
 乙のふしよこ...  
 甲のふしよこ...  
 乙のふしよこ...













# 柳亭種彦及添削

柳亭種彦の著書は、その筆致の秀麗、内容の豊富に著しく、世に傳へられたるもの多し。然るに、その著書の中には、誤謬の多きものあり、故に、種彦の著書に、種彦の弟、種繁が、添削を加へ、之を訂正し、世に傳へられたるものあり。此の書は、種彦の著書に、種繁の添削を加へ、之を訂正し、世に傳へられたるものなり。



歌川貞秀画  
瓢亭種繁作

柳亭種彦の著書は、その筆致の秀麗、内容の豊富に著しく、世に傳へられたるもの多し。然るに、その著書の中には、誤謬の多きものあり、故に、種彦の弟、種繁が、添削を加へ、之を訂正し、世に傳へられたるものあり。此の書は、種彦の著書に、種繁の添削を加へ、之を訂正し、世に傳へられたるものなり。

漢楚賽擬選軍談 每編八冊  
三篇迄 曲亭馬琴作  
出来仕

千代楮良著聞集 毎編八冊  
第二篇 右 同 作  
下巻出来

其小唄戀情紫 全六冊  
狂訓亭春水作  
歌川國直画

木像譚語 全六冊  
林屋正藏作  
歌川貞秀画

鞍馬山源氏勲功 全五冊  
故楚滿人作  
歌川廣重画

樂屋雜談 初篇四冊  
二篇四冊  
立川馬馬作  
歌川國貞画

活金剛傳 各々一冊  
香蝶樓國貞画

黒油義玄香 甲州 東  
本問屋

時代時繪  
桑四山  
更紗團扇

篠塚  
太郎物語

浦嶋太郎  
玉の土産

右各中形  
袋入りの一冊  
香蝶樓國貞作

馬喰町貳丁目

永壽堂

百寸

八



